



■本塩釜駅周辺地区中心市街地活性化推進地区 事後評価結果について



本塩釜駅周辺中心市街地活性化推進地区 事後評価結果について

目 次

- | | |
|---------------|----------|
| 1. 事後評価とは | ・・・p2 |
| 2. 事後評価結果の概要 | ・・・p3～p4 |
| 3. フォローアップの実施 | ・・・p5 |



1. 事後評価とは

事後評価の目的

まちづくり交付金の事後評価は、交付金がもたらした成果等を客観的に検証して今後のまちづくりのあり方を検討すること及び事業の成果を住民に分かりやすく説明することを目的としています。

事後評価の実施主体

事後評価の実施主体は、事業主である市町村が実施しその結果を国に報告します。当該地区については、塩竈市が主体となり評価を行います。

事後評価の時期

事後評価の実施時期は、都市再生整備計画に記載した交付金の交付期間が終了する年度に実施することとしています。

当該地区については、交付金事業期間は平成17年度～平成21年度となっており、最終年度となる平成21年度に実施しております。

2. 事後評価結果の概要 その1

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	宮城県		市町村名	塩竈市		地区名	本塩釜駅周辺中心市街地活性化推進地区		面積	87ha			
交付期間	平成17年度～平成21年度		事後評価実施時期	平成21年度		交付対象事業費	1,593.2百万円	国費率	0.357				
1) 事業の実施状況	事業名												
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	・海岸通二号线・本塩釜駅前一号线・千賀の浦緑地整備・地域案内板整備事業・北浜沢乙線整備 ・本町四号線整備・本町五号線整備・本町六号線整備・塩竈新駅上の原線整備・尾島町天神橋線グレードアップ・しおかぜ通りグレードアップ・土地区画整理事業										
		提案事業	・北浜沢乙線電線共同溝整備関連事業・土地区画整理事業関連事業下水道等整備 ・土地区画整理事業建物移転整地・事後評価調査										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	なし										
		提案事業	なし										
新たに追加した事業	基幹事業	・港町海岸通線・北浜沢乙線・港湾広場整備事業・七曲坂通線・北浜沢乙線外路線・旅客ターミナル誘導路整備・東参道周辺環境整備事業・北浜沢地区水路周辺修景施設・北浜一丁目二十二号線		地区内の回遊性強化及び交流拠点施設(港湾広場)を整備するため追加		事業の追加によって各指標の数値目標を達成する効果が発現する要因となる							
	提案事業	・本塩釜駅前交通広場接続施設設置事業・海辺の賑わい地区共同化支援事業 ・中心市街地回遊性社会実験		地区内の回遊性強化及び居住環境の向上を図るため追加		事業の追加によって各指標の数値目標を達成する効果が発現する要因となる							
交付期間の変更	当初	平成17年度～平成21年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響									
	変更												
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標1	歩行者交通量	人	6,515	H12	6,645	H21	3,411	7,783	○	あり なし	本塩釜駅周辺整備を行ったことにより、塩竈の新たな魅力ある賑わい空間が形成され、歩行者交通量が増加した。	-
	指標2	都市好感度	アクセス数・年	110,000	H15	150,000	H21	208,720	207,970	○	あり なし	市の年間観光入込数や年間商品販売額が減少傾向にある中、門前町の景観形成・本塩釜駅とマリノゲート塩釜をつなぐ区間の観光空間整備・良間におけるイベント実施などにより、これまでの取り組みとの相乗効果として、多くの人が塩竈の魅力を感じるきっかけとなり、塩竈への関心度・好感度が向上しHPアクセス数の増加に繋がった。	H22年4月
	指標3	北浜沢乙線好感度	%	53.3	H16	57.6	H21	77.5	78.0	○	あり なし	北浜沢乙線について、石畳風の歩道・せせらぎといった景観整備や古歌板などを設置し塩竈の文化を感じられる空間整備を行い歴史的な景観を演出し、中心軸として魅力ある道路空間を創出した。	-
	指標4	地区内居住人口	人	123	H15	225	H21	74	194	△	あり なし	数値目標は達成していないが、当該事業により都市景観の高質化による地区イメージが向上し、地域住民の生活の質の向上が図られていることから、地区内居住者が年々増加しており、事業効果が発現している。	H22年4月
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1	食べ歩きイベント「おいしおがま」の参加人数	人	750	H18			1,200	1,400			食べ歩きイベント「おいしおがま」の参加者にアンケート調査したところ「また参加したい」との回答が80%を超える結果になった。	H22年4月
4) 定性的な効果発現状況	<p>・北浜沢乙線の拡幅にあわせた門前町にふさわしい景観形成について、歩道部分にせせらぎ・石畳風の歩道といった歴史的な景観整備や、塩竈の和歌を詠んだ古歌板などを設置し塩竈の文化を感じられる空間整備を行うなど、中心軸として魅力ある道路空間が創出され、観光客が古歌板やせせらぎ空間を楽しみながら鹽竈神社周辺を散策する姿をよく見かけるようになった。また、平成18年に北浜沢乙線が国土交通省の日本風景街道に「鹽竈海道」として登録された。</p> <p>・当該事業において、中心市街地の回遊性が向上したことや、大型店の誘致・本塩釜駅東口駅前広場の新設などの駅周辺整備により、平成12年以降も年々減少傾向にあった本塩釜駅の乗車人員が平成19年には下げ止まり、平成20年度まで横ばい傾向を維持しており、本塩釜駅の乗車人員に事業効果が発現していると思われる。</p>												
5) 実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	都市再生整備計画の計画管理として、事業成果についての評価や事業の進め方の改善等を確認するための中間モニタリングを実施した。		都市再生整備計画に記載し、実施できた				● 平成19年度、平成20年度のモニタリングにおいて、確認できた内容を平成21年度に実施する事後評価に反映させる。					
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
	住民参加プロセス	海辺の賑わい地区まちづくり推進会議		都市再生整備計画に記載し、実施できた				● 「海辺の賑わい地区」ランドデザインに示されたまちづくりを進めるため、今後とも共同化支援事業などを継続して推進する。					
都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった											
中心市街地サイン景観ワークショップ		都市再生整備計画に記載し、実施できた				● 地域案内板整備としては平成20年度で整備が完了するが、今後も市内に案内板を整備する際は、ワークショップを開催する。							
持続的なまちづくり体制の構築	地域振興ならびに社会福祉の増進を図るイベント活動		都市再生整備計画に記載し、実施できた				● 事業終了後もポストDCO(ディスティネーションキャンペーン)としてイベントを継続することにより、中心市街地の回遊性を持続的なものとする。						
	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										
	北浜沢乙線景観整備に関する地元住民の研究会		都市再生整備計画に記載し、実施できた				● 北浜沢乙線の整備事業終了後も、定期的に会議を開催し、門前町にふさわしいまちづくりを進めていく。						
	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										

2. 事後評価結果の概要 その2

様式2-2 地区の概要

本塩釜駅周辺中心市街地活性化推進地区(宮城県塩釜市) まちづくり交付金の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
将来ビジョン:海園都市・塩釜 ～海と歴史のまち・美味しい食と文化のまち・海辺と暮らすまち～		歩行者交通量	単位:人	6,515	H12	6,645	H21	7,783	H21
短期目標:「歴史の香る環境型都市居住ゾーン」「駅前賑わいゾーン」「海辺の賑わいゾーン」。3ゾーンを結ぶ中心軸の魅力向上と市街地回遊性の強化と居住促進		都市好感度	単位:アクセス数・年	110,000	H15	150,000	H21	207,970	H21
		北浜沢乙線好感度	単位:%	53.3	H16	57.6	H21	78.0	H21
		地区内居住人口	単位:人	123	H15	225	H21	194	H21

<p>まちの課題の変化</p>	<p>・本塩釜駅に隣接する旧国鉄貨物ヤード跡地について、未利用な状況が課題となっていたが、新設したアクアゲートの駅広整備や本塩釜駅とマリゲート塩釜を結ぶ遊歩道(マリゲートおほかぜ)整備などに加え、大型商業施設を誘致したことにより、魅力ある賑わい空間が形成され、歩行者交通量が増加した。</p> <p>・まちなかの案内板については、設置不足やデザインの統一性などが課題となっていたが、主要箇所統一したデザインのサインの整備を行うことができた。</p> <p>・中心市街地における道路について、歩道や点字ブロックの設置、また舗装の色による視覚的歩車分離などバリアフリー化の促進を行ったことにより、本塩釜駅へのアクセス性や安全性が向上し、地域住民の生活の質の向上に大きく寄与している。</p> <p>・「海辺の賑わい地区」において、区画整理事業を行い基盤整備を促進し、公園や緑地を整備したことにより、生活環境を高めた。また、地区内に区画整理が整備されたことにより、避難道路が確保され、良好な住宅地が形成された。</p> <p>・「月灯り」や「おもしろおかま」などのイベントにより、観光客を塩釜へ誘致したことや、本塩釜駅とマリゲート塩釜をつなぐ区間を海辺の賑わいを創出する親水空間として整備したことなどにより、本塩釜駅周辺に更なる賑わいが創出され、地域住民・観光客を含め多くの人々が塩釜の魅力を感じるきっかけとなり、塩釜への関心度・好感度が向上した。</p>
<p>今後のまちづくりの方策(改善策を含む)</p>	<p>・本塩釜駅周辺や塩釜駅周辺などから公共施設までのバリアフリー化など歩行環境の改善とあわせ、歩行ネットワークを充実するため、案内板を設置する。</p> <p>・ソフト事業(「おもしろおかま」,「月灯り」など)のイベント内容を質的に向上させ、周辺への回遊性を波及させるため、商店街や他団体との連携を強化していく。</p> <p>・快適な歩行環境を創出するハード事業やまちに点在する歴史的ストックを紹介するソフト事業を実施し、さらなる交流人口の増大を図る。</p> <p>・本町通りなどについて、歩車道の分離や緑化などを行い、快適な歩行空間を創出し北浜沢乙線と併せて観光客の回遊性の向上を図る。</p> <p>・地域住民の意見を取り入れ、魅力ある商店街の景観を形成し、中心市街地の活性化・塩釜のイメージアップを図っていく。</p> <p>・民間事業を活発化させるため、基盤整備だけでなく、価値観の提示等を行い新たな施策・支援等を検討しまちなか居住の推進を図る。</p> <p>・区画整理事業は平成23年度で整備が完了するが、今後も「海辺の賑わい地区」グランドデザインに基づき土地利用を推進し、食・住・商の複合的に恒常的な賑わい創出を図る。</p>

3. フォローアップの実施

■フォローアップとは

フォローアップとは、事後評価結果の概要で記載している数値目標の達成状況について、「見込み」の値で評価した指標について、交付期間終了後に実際の数値データを計測し、数値目標が達成されたかを検証することです。

なお、達成されなかった目標については、今後のまちづくりの課題とします。

指 標		従前値	目標値 (H22.3)	評価値計測手法	確定値 (H22.3)	達成 状況
指標 2	都市好感度 (アクセス数/年)	110,000 (H15年度)	150,000	H21.4～7末までは実績値を計測し、H21.8～H22.3までは過去4年間の傾向から、アクセス数を推計し合計した値を年間アクセス数の評価値(見込)としたため、平成23年4月末に確定値を計測した。	212,810	○
指標 4	地区内居住人口 (人)	123人 (H15年度)	225人	H21.8末の区画整理地区内居住人口に、区画整理地区内の分譲マンション残戸数×市内平均居住者数により算出した想定居住人口を足して評価値(見込)としたため、平成23年4月末に確定値を計測した。	76人	×
その他 指標	食べ歩きイベント 「おいしおがま」 参加人数 (人/年)	750人 (H18年度)		H18～H20年度の「おいしおがま」参加人数を商工会議所に確認し、その傾向からH21年度の参加者を推計し評価値(見込)としたため、平成23年4月末に確定値を計測した。	649人	×